▼タイトル▼

助動詞　標準

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

We couldn’t ［　　　］ wondering if Jane will come on time.  
  
（－）

▼選択肢▼

① without

② also

T③ help

④ but

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「私たちはジェーンが時間どおりにくるかどうか気になってしかたがなかった。」  
cannot[can’t] help doing「〜せざるを得ない」は、助動詞を使った慣用表現。このhelpは「〜を避ける」という意味で、あとに動名詞がつづくことに注意。「〜することを避けられない」＝「〜せざるを得ない／〜しないではいられない」という意味になる。  
なお、cannot[can’t]を使った類似表現がいくつかあるので整理しておこう。  
cannot[can’t] help doing「〜せざるを得ない」

＝ cannot[can’t] help but do  
＝ cannot[can’t] but do

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

We ［　　　］ climb such high mountains in winter.  
  
（－）

▼選択肢▼

① not had better

② had not better to

T③ had better not

④ had not better

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「冬にそんな高い山に登らないほうがいい。」  
had better do「～したほうがよい」の否定形はnotをおく位置に注意。had betterを助動詞のかたまりと考えて、直後にnotをつけ、had better not do「〜しないほうがよい」という形になる。

▼問題文▼

２つの英文がほぼ同じ意味になるように、空欄に

適する語句を選びなさい。

▼小問▼

⒜ Kate has good reason to be proud of her mother.  
⒝ Kate may ［　　　］ be proud of her mother.  
  
（－）

▼選択肢▼

T① well

② much

③ too

④ so

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「ケイトが母を誇りに思うのはもっともだ。」  
may[might] well doは助動詞を使った慣用表現で、２つの意味を表す。  
・「おそらく〜するだろう」  
・「〜するのはもっともだ」  
本問は、⒜のhave good reason to do「～するもっともな理由がある」という表現に注目する。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

It’s necessary that food and clothing ［　　　］ sent to the victims.  
  
（－）

▼選択肢▼

① being

② were

③ is

T④ be

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「食料や衣類は被災者に送られる必要がある。」  
〈It is＋形容詞＋that S V 〜〉「〜するのは…だ」という文で、necessaryのような**必要**・**要求**を表す形容詞が入るときは、that節のなかは原則的に〈S (should)＋原形〉という形にする。shouldを省略して〈S＋原形〉という形になることもあり、本問はshouldが省略されてfood and clothing be sent ... となる。  
なお、〈It was＋形容詞＋that S V 〜〉という過去の文で合っても、〈S (should)＋原形〉や〈S＋原形〉の形は変わらないことにも注意。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

It is strange that my brother ［　　　］ do such a foolish thing.  
  
（－）

▼選択肢▼

① should not

T② should

③ ought to

④ could not

▼解説▼

解答：②  
【設問の解説】  
「兄がそんなばかげたことをするなんて変だ。」  
〈It is＋形容詞＋that S V 〜〉「〜するのは…だ」という文で、strangeのような**判断**・**感情**を表す形容詞が入るときは、that節のなかは原則的に〈S (should)＋原形〉という形にする。shouldを省略して〈S＋原形〉という形になることもある。  
なお、〈It was＋形容詞＋that S V 〜〉という過去の文で合っても、〈S (should)＋原形〉や〈S＋原形〉の形は変わらないことにも注意。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Tom ［　　　］ come here unless it is necessary.  
  
（－）

▼選択肢▼

① don’t have to

② doesn’t need

T③ need not

④ not to need to

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「必要でないならトムはここに来る必要はない。」  
助動詞needは、原則として**否定文**または**疑問文**で使われる。  
need not[needn’t] do〜「〜する必要はない」  
Need S do〜 ?「Sは〜する必要がありますか」  
一般動詞needとの用法のちがいに注意。②のように一般動詞として使う場合は、目的語として不定詞をつづけてneed to do「〜する必要がある」という形になる。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Jack left home thirty minutes ago, so he ［　　　］ at the office by now.  
  
（－）

▼選択肢▼

① would have arrived

② might have arrived

T③ ought to have arrived

④ must have arrived

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「ジャックは30分前に家を出たのだから、今ごろはもう会社に着いているはずだ。」

should[ought to] have doneには「〜すべきだったのに（実際にはしなかった）」という意味のほかに「（今ごろは）〜して（しまって）いるはずだ」という意味がある。文末のby now「今ごろはもう」に注目。  
①②④はいずれも過去の事柄に対する推量を表すので不適切。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

It was unlike Emily to get so angry. She ［　　　］ the point of my joke.  
  
（－）

▼選択肢▼

① might miss

② needed to miss

T③ may have missed

④ must have been missed

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「あんなに怒るなんてエミリーらしくなかった。彼女は私のジョークがわからなかったのかもしれない。」  
１文目にIt was unlike Emilyとあるので、過去の内容を述べていることがわかる。may[might] have done「～だったかもしれない／～したかもしれない」であれば文意に合う。①は現在や未来の推量を表すので不適切。  
miss the point「要点がわからない」